

若手が考える
電力業界の
これからのカタチ



The Shapes of the Future

「キャリアオーナーシップ経営 AWARD 2024」 「企業文化の変革部門」において 最優秀賞を受賞!

九州電力は、2024年5月、人的資本経営を進める企業を表彰する「キャリアオーナーシップ経営 AWARD 2024」の「企業文化の変革部門」で、エネルギー業界で初めてとなる最優秀賞(大企業の部)を受賞しました。

「企業文化の変革部門」は、キャリアオーナーシップを土台とした新たな企業文化・風土を生み出すために取り組む企業を表彰するものです。

九州電力では、2023年10月から、従業員の「こうしたい」という思いを起点に、一人一人が自律的・自発的に行動し、共創しながら組織の力とするQX(Qden Transformation)の施策を始めました。併せて、従業員の教育方針・体系及び施策についても新たな取り組みをスタート。従業員エンゲージメントを高めるための研修を全管理職に向けて実施するほか、従業員の研修に関するコンテンツを一元化したプラットフォームを開発するなど、学びたいことをそれぞれの都合に合わせて学べる環境を整えました。今回の受賞は、このような人と組織が共に成長する企業文化醸成への取り組みが高く評価されました。

今後も、人と組織が成長し続ける企業文化の醸成に取り組み、未来の価値創出を目指します。

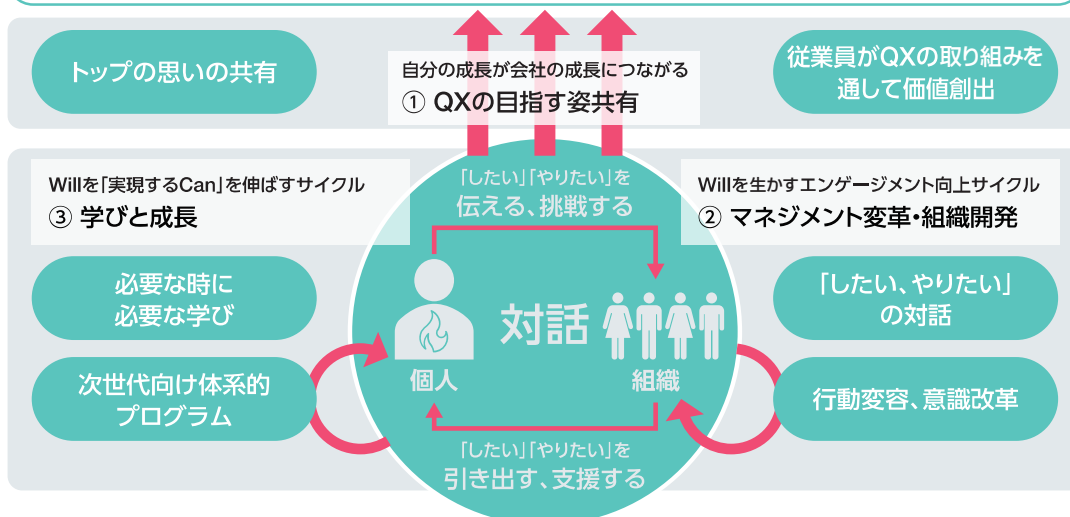


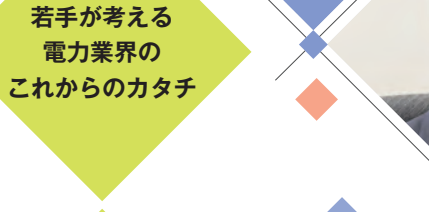
QX(Qden Transformation)とは

一人一人が自律的・自発的に行動し、共創しながら組織の力としていく「人と組織の成長」「付加価値創出」を加速させ、企業文化として定着させる取り組み

「思いをカタチに」：人と組織が共に成長し、価値を創出

- 個人の「Will」が会社や組織のビジョンとつながり、人と組織が共に成長する
- 全従業員が主役となり熱意を持って行動することで、個人の「Will」が価値創出につながる未来を創る





若手が考える
電力業界の
これからのカタチ

The Shapes of the Future

近年、大きな変化を迎えている電力業界。電力会社でも、これまで以上に幅広い事業が求められています。そこで、今回はエネルギーの未来を担う九州電力、九州電力送配電およびグループ会社の若手社員に、「若手が考える電力業界のこれからのカタチ」をテーマに、それぞれの取り組み内容や思いを語ってもらいました。

地域貢献や電力の安定供給への思いを胸に九電グループへ

それぞれの会社に入社した 動機を教えてください。

太田 大学生の時に熊本地震で被災し、電気の大切さを実感したことから電力会社を意識するようになりました。震災で電気のない生活を経験し、電気を使えることが当たり前ではないこと、生活する中において電気の大切さなどを感じました。またその一方で、電力会社との接点を意識したことがなかったため、お客さまに電気や電力会社をより身近に感じていただく「ファンづくり」をしたいと思い、入社を志しました。

松下 前職では不動産管理会社に勤務し、行政と民間が協同してまちづくりや施設開発

を行うプロジェクトを担当してきました。そこで九州電力の地域発展ファーストのまちづくり姿勢に共感し、ぜひ一緒に働きたいと思ったことが入社のきっかけです。

堂領 将来は「生まれ育った九州に貢献したい」「学生時代に学んだ電気工学の知識を生かしたい」という思いがありました。参加した会社説明会で、九電グループの社員の方が電力の安定供給について熱く語る姿や、その使命感の高さに惹かれました。私も、生活や経済活動に欠かせない電力の安定供給を通して、地域の人々の暮らしを支えたいと思いました。

堤 高校生から電気について専門的に学んでいたため、将来は電気に携わる仕事に

就きたいと考えていました。九電送配サービス(QSS)は配電設備の保守・設計を行っていることや、お客さまの身近なところで仕事ができるのでやりがいを感じられると思い、志望しました。



商品をPRしたいターゲットや、CMのコンセプトについて協議し、CMの方向性を検討する。

顧客接点を生み出すグループの中で、プロモーションを担当。低圧のお客さまを対象に、テレビCMの制作・放映、WEB広告の運用、特設ページの制作、チラシの制作・管理などに携わり、料金プランやサービスの特徴について、分かりやすくかつ魅力的に感じてもらえるように心がけている。お客さまにファンになってもらうためのきっかけになるプロモーション業務に、日々やりがいを感じている。

ファンづくりを目指して プロモーション業務を担当

九州電力
営業本部 マーケティング戦略グループ
おた みく
太田 美紅さん 2020年入社



業務の効率化を図る ドローン業務のスペシャリスト

九州電力
情報通信本部 ドローン業務グループ
たるの まさあき
垂野 将明 さん 2018年入社

ICTで社内の課題解決を目指す情報通信本部において、ドローンを用いた業務効率化に従事。発電所のボイラーの内部点検や、非常災害時での被害状況の空撮、煙突や通信鉄塔といった高所作業の点検などでドローンの技術を活用している。また、2024年に九州電力が設立した子会社「九電ドローンサービス」の立ち上げにも携わり、現在は九州電力と九電ドローンサービスを兼務している。

多種多様な業務で、九州の活性化に貢献

現在の業務内容を教えてください。

垂野 ICT(情報通信技術)を活用して社内の課題解決を目指す情報通信本部の中で、ドローンを用いた社内業務の効率化に携わっています。電力会社がドローンを活用するイメージが湧かない方もいらっしゃると思いますが、2016年に発生した熊本地震で、人が立ち入れない場所への現場確認などでドローンの有効性が認められ、積極的に活用することになりました。現在は、非常災害時に被害状況の空撮や、煙突や通信鉄塔といった高所作業が必要な箇所の点検などに活用しています。また、社内で培ったドローン利活用のノウハウを、社外のお客さま向けに提供するために設立した九電ドローンサービスとも兼務しています。2023年度は名古屋や広島、能登など全国各地に行きました。

福岡 現在は、配電本部内の方針策定・業務進捗管理やコミュニケーション活動などの計画・推進を担う総括業務に携わっています。また、2022年に業務開始したQSSに関わる業務や配電部門の将来的な組織体制を検討する業務も行っています。QSSから社内ルールの変更などの相談があった際は、関係箇所と調整しながら、現場の方々ができるだけ効率的に業務ができるよう環境を整えています。

岩崎 発電所や特別高圧設備所有のお客さまに対して保守・点検などの設備保全・メ

ンテナンス業務を行うグループの中で、私は設備の巡視点検や作業に伴う機器操作を担当しています。設備保全の高度化にも取り組んでおり、センサーやカメラなどのデジタル機器を活用し、現場に出向かなくても巡視や工事管理の遠隔化による効率化を実現しています。ドローンを活用した定期点検の効



率化にも取り組んでいます。

牛島 私は、ビルが密集する都市部や市街地など、架空送電線の建設が困難な箇所では中に電力ケーブルなどの送電設備を設置する地中線工事を行っています。今は、書類作成や資機材発注、あいさつ回り、工事施工箇所の安全管理といった施工管理業務など、工事が円滑に進捗するように準備を進めています。

印象に残っている業務ややりがいを教えてください。

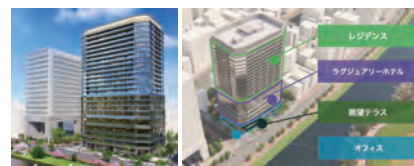
太田 オール電化リフォームを訴求するCM制作に、初めて携わることができました。私は、主にCMと連動した特設ページの制作を担当し、撮影現場にも立ち会いました。ゼロからものづくりをするのが初めてだったため、とてもワクワクしたと同時に、地道な作業も多く、



ドローンによる発電所の自動巡視点検を検証している。

制作の大変さを実感しました。その分、CMや特設ページが公開されたときには大きな達成感を得られました。

松下 九州電力は地域との信頼関係や九州内のリレーションシップ、エネルギーやICTに関して高い専門力を有し、その強みを都市開発事業と掛け合わせることで他社にない取り組みができと考えています。現在は、社会的価値と経済的価値の両立を目指す福岡家庭裁判所跡地活用事業のプロジェクトに携わっています。このプロジェクトを通じて地域の発展に貢献できることにやりがいを感じていますし、様々な視点から地域が成長するような施設をつくれるのは当社ならではの強みだと思います。



福岡家庭裁判所跡地活用事業では、地域ニーズに応えるミクスْتُースな施設開発が進む。

宮田 私は送電設備に関わる巡視や点検、伐採などの計画・管理に加え、業務の高度化検討、電気PRなどを行っています。入社2年目の夏、田んぼの中にある鉄塔の巡視

不動産開発や街づくりを通して 地域の活性化に貢献

九州電力
都市開発事業本部 住宅開発グループ
まつした よしたか
松下 佳敬 さん 2022年入社

不動産開発やまちづくりを通じた地域活性化を目指し、住宅アセットを含む開発を通じて、部門の収益最大化を図ることを目標に業務に励む。マンション事業の企画・推進を中心に、商品企画、土地仕入れ、販売のサプライチェーン全体を、グループ会社の九電不動産や大手デベロッパーと共に取り組む。九州電力として総合的なまちづくりをすることで、他社との差別化を図る。

配電本部内で、総括業務や組織管理に関わる業務に従事。本部内の業務進捗管理やコミュニケーション活動などの計画・推進を行う。全社の配電部門の業務運営方針も作成。配電部門全体の課題の把握や、全社の動向、社会情勢などを踏まえて方針を作成するため、日頃から情報収集や部門内の方とのコミュニケーションを心がけながら業務に従事している。

配電部門の方針や

組織運営について検討

九州電力送配電
配電本部 配電戦略企画グループ
ふくざき たかひろ
福岡 貴裕さん 2017年入社

PROJECT
04



電力業界や時代の変化に伴い、働き方や職場環境も柔軟に対応

中に、近所の方から「この暑い中何してるの?」と声を掛けられました。「電気をちゃんと届けられるように鉄塔の点検をしています!」と返事をする、「そりゃすごいね〜!ありがとう!これからよろしくね〜!」と言っていたことが印象に残っています。私たちが運んだ電気が地域の皆さまのお役に立っていることを改めて認識すると同時に、この仕事をやっていて良かったなと思いました。



“電工”を広く知ってもらうためのPR用ラインスタンプ(左)や鉄塔ペーパークラフト

福岡 配電事業所に勤務していたときは、直接お客さま対応を行うため、お客さまの様々なニーズに応えていくことに、やりがいや楽しさを感じていました。また、災害時に復旧活動に行くとき「ありがとう」という言葉をたくさんいただきました。特に、九州域外で災害が発生し、復旧応援に従事した際、現地の方から「九州からきてくれてありがとう」と言われたのはとても印象に残っています。

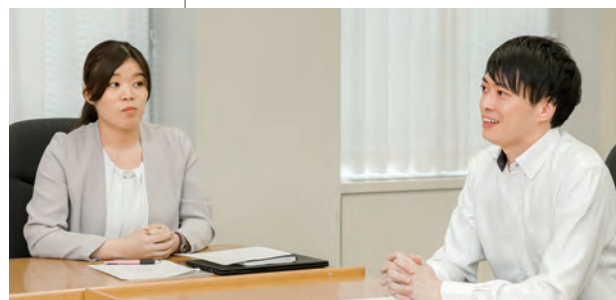
堂領 私が所属している中央給電指令所では、電気の使用量を予測し、お客さまの電気の使用量や再生可能エネルギーの出力を24時間365日監視しながら発電量をコントロールする需給運用業務を主に行っています。当直勤務のときに緊急突発的な障害が発生すると、緊張感の中で、限られた人員で

迅速に対応することが求められます。私が初めて障害対応を経験した際は、瞬時に対応できず苦い経験となりました。しかし、日々の業務の中で経験を重ねて、適切な処置を円滑に行うことができるようになり、自分自身の成長を感じています。

岩崎 発変電部門には工事業務と保守業務があり、私は両方の業務を経験しました。工事業務では、自分が担当した修繕工事で、修繕方法の検討や設備不具合の解消、取引先さまとのコミュニケーションなど、様々な場面で経験を積めるところにやりがいを感じました。また、保守業務では巡視点検の際に設備の状態や採取したデータから不良傾向を発見することもあり、設備保全の最前線にいるという責任が達成感につながっています。

入社して良かったこと、働きやすい職場環境は?

太田 任意でオンライン講座や通信教育を受講できるなど、勉強できる環境が整っています。私は約半年間、九州生産性大学のマーケティング講座を受講して、毎月他企業の方々とマーケティングについて勉強しています。講師の方の話の聞き、受講生の方々と意見を交換することで視野が広がり、とても有意義な時間となっています。自分が希望すれば学べる環境ですし、職場の上司や先輩が快くサポートしてくれるのもありがたいです。これからは、学んだことを職場に還元していきたい



と考えています。

松下 都市開発事業本部では、約1年前からフリーアドレスを採用しています。他のグループの方の仕事内容を把握でき、困ったことがあったときにも聞きやすい環境になっています。

また、スーパーフレックスを導入しているため、朝早く出社した分、早めに仕事を終えて保育園に子どもを迎えにいくこともできます。都市開発や不動産プロジェクトは自分の都合で

「少しでも多くの人役に立つ仕事がしたい」と考えていたときに、学校の先生から紹介されて入社を決意。これまで所属した部署・グループでは、先輩社員をはじめ同僚に恵まれたため、「この会社に入社して良かった」と感じている。電力業界をより働きやすい業界にするため、システム開発や保全・建設業務の高度化検討などに携わりたいと考えている。

設備の管理や高度化検討で

電力の安定供給を支える

九州電力送配電
送変電本部 送電グループ
みやた ゆう
宮田 優さん 2015年入社

PROJECT
05





発電量をコントロールし 低廉で良質な電気を届ける

九州電力送配電
系統技術本部 中央給電指令所 エリア運用グループ
どうりょう かず き
堂領 一輝さん 2018年入社

電力業界は良くも悪くも変化が少ない安定した業界だとイメージしていたが、入社後、カーボンニュートラルへの関心の高まりや制度変更など、スピード感を持った対応や、高い技術力、知識が求められると実感している。また当社は、育児を支援する体制も整っており、職場理解が浸透している。2024年10月に育児休職を取得した際には、プライベートを充実させることができ、仕事に対するモチベーションアップにも大きくつながったと感じている。

時代や環境の変化に合わせて、電力業界も変化を遂げる

休みづらい部分もありますが、上司や同僚も理解があるので、育児をしながら働きやすい環境です。

宮田 正直、入社前は電力業界に対して、お堅い男社会のイメージがありました。入社直後も良くいえば歴史ある会社、悪くいえば柔軟性に欠ける印象がありましたが、電力自由化や発送電の分離、レベニューキャップ制度が導入され、事業環境の変化に合わせて電力業界も大きく変化していると感じています。当社でも、DX(デジタルトランスフォーメーション)やQX(Qden Transformation)の推進、ダイバーシティの推進に積極的に取り組んでおり、技術部門にも女性社員が増えてうれしく思っています。職場環境も女性が働きやすいように整備されています。工事業務や保全業務の高度化にも取り組み、機械化や自動化が進んでいます。

牛島 当社では育児休業や有給休暇が取得しやすいよう、各現場で人員調整しながら運用しています。また資格取得についても、講師の方を招いて講習に参加するなど、

試験に対するサポート制度も整っています。福利厚生として私が一番利用しているのが、飲食費などが補助されるカフェテリアプランです。家族で外食に行く回数が増え、プライベートを充実させることで、仕事へのモチベーションアップにつながっています。

これからどんな仕事に 取り組みたいですか。

垂野 今後は、ドローン技術の発展を見据えて、社内外のニーズに応じて多様なドローン



ソリューションの開発に取り組んでいきたいと考えています。例えば、ドローンの自律飛行による発電所や変電所の完全自動点検や、AI(人工知能)を活用して撮影データから異常箇所を抽出するといった新たな検証・サービス開発に挑戦し、さらに地域社会の課題解決につなげていきたいです。

福崎 私は、全社に関わる方針や将来的な組織運営を検討する業務に難しさややりがいを感じています。どうすれば会社が良い方向に進むのか、お客さまにより良いサービスを届けることができるのかを考えていく中で、部門を越えて会社全体の経営に関わるような業務に携わりたいと考えるようになりました。



時々刻々と変化する電気の使用量に応じて発電量の調整を行い、良質な電気を届けている。

堤 QSSは電気事業に関する制度の制約を受けないため、配電業務以外の新規事業ができることも強みの一つです。新たなアイデアを検討するとともに、事業化に向けた取り組みにもチャレンジしてみたいと思っています。

牛島 私は入社して12年になりますが、これまで先輩、上司から様々なことを教えていただきました。次は、自分が教える立場になってきたので、これまで自分が吸収してきた技術を継承し、当社スローガン「人と技術で未来を築く」のように周囲と共にステップアップしたいと思っています。

将来、どのような業界、 会社にしていきたいですか。

太田 「九州電力」という存在を、より身近に感じてもらえる会社になりたいです。そのために、お客さまとの接点を増やし、「これがあるから九州電力と契約している、応援している」と言っていだけの会社を目指します。当社のサービスやプランを正しく分かりやすく伝えることで、当社を選んでもらうきっかけとなり、お客さまの未来を明るく照らし、豊かで快適な暮らしの実現に貢献したいと考えています。



配電設備の保守(巡視)業務



配電設備の設計を通して 安心して電気を使える社会を目指す

九電送配サービス(QSS)
久留米サービスセンター 技術サービスグループ
つづみ しゅう へい
堤 柊平さん 2022年入社

配電設備の保守・設計を行うQSSの中で、設計の業務に携わる。その中でも、電気工事店からの供給や容量変更の申し込み内容を確認し、委託工事会社に工事依頼するなどを担当している。電力業界について堅いイメージを持っていたが、実際は職場内でイベントや交流があり、他事業所とも関わる機会があるなど明るい雰囲気だと感じた。

学校からの紹介でQHTを知り、採用2期目という新しい会社であったことから、会社と共に成長したいと入社。実際に業務に携わる中で、グループ会社や取引先など多くの人の協力で電力の安定供給が成り立っていることを実感。自分たちが点検業務で不備を見つけられるなど、その役割を担うことで九州のライフラインを支えていきたいと感じている。

設備のメンテナンスに従事

デジタル機器を活用した効率化も実現

九電ハイテック(QHT)
宮崎支社日向事業所 発電電グループ
いわさき よしこ
岩崎 佳子 さん 2016年入社



PROJECT
08

若手社員が考える、新しい電力業界の在り方とは

福岡 電力業界は、変化の少ない仕事というイメージがあるかもしれませんが、実際はシステム化による系統運用の高度化、ドローンやロボットなど新しい技術の活用、業務のDX化、アセットを活用した新規事業など新しいことにチャレンジできる業界です。現在、配電部門では将来のありたい姿を踏まえた「配電部門技術開発ビジョン」を策定し、技術開発とデジタル変革に積極的に取り組んでいます。先輩方が築いてきた配電技術やマインドを継承しながら、新しい技術にも積極的に挑戦し、日本における次世代配電のパイオニアとなり、日本をリードできる会社になりたいです。

宮田 以前に比べると機械化や自動化が進んでいるものの、他の業界と比べると現場での作業など人の力が必要な部分もあります。より高度化・効率化を図りながら、私が業務の上で一番大切だと思っている社員同士のつながり、コミュニケーションも忘れずに、誰もが安心して働ける会社になりたいと思います。

堤 電力の安定供給を第一とし、そのために配電設備や電柱の保守保全など、日頃の業務にしっかりと取り組んでいます。また、当社は、地域とより密接に関わることを意識しています。お客さまから「この会社なら安心

して任せられる」と思ってもらえるよう、その他のサービスや業務でも、地域の皆さまから信頼してもらえる会社を目指します。

岩崎 九電ハイテックが将来ビジョンとして掲げる4つの柱を目標とした社員の行動や姿勢が、会社の成長や電力業界の高度化につながっていくと考えます。また、多くのグループ会社や取引先さまの存在を知り、電力の安定供給が多くの人の協力の下で実現できていることを実感しました。今は、その一員であることを誇りに思います。

仕事を通じて、どんな社会をつくっていきたいですか。

垂野 電力の自由化など制度の変化や再生可能エネルギーの導入、スマートグリッドの普及など、業界全体が大きな変革期を迎え、電力をより安定的に供給するためにICT技術の導入や新規事業の創出など、新たなことに積極的に取り組んでいます。私も、ドローンによる実績と経験を基に、人口減少や高齢化など全国の課題解決に貢献していきたいと考えています。

松下 都市開発事業を通して、地域の方々に豊かな価値を提供したいです。私の夢は、九州を東京や大阪と同じくらいの都市にすることです。地域のポテンシャルを最大化する社会基盤を整え、スマートシティの導入や再生可能エネルギーを推進し、環境にやさしく、持続可能な社会づくりに貢献したいです。



設備保全業務のうち、基本2人1組で行う巡視業務

堂領 現在、九州には多くの半導体工場や大手企業が参入していますが、これは先輩たちが築き上げた安定した電力供給基盤があるからこそ実現していると感じています。カーボンニュートラルや制度変更に伴う業務の見直しなど、様々な課題はありますが、これからも電力の安定供給を通じ、九州の活性化に貢献していきます。



牛島 建設部門は多くの人が協力して一つのものを作り上げます。作業環境は猛暑や高所の中で行うことはありますが、達成感ややりがいもあります。今後は新たな技術を積極的に導入し、機械化・自動化を進めることで、働く人の負担が軽減され、効率的にもものづくりができるようになって考えています。そして、これからもずっと「電気のある暮らし」が当たり前である社会を支えたいと思っています。



工事内容を説明する様子

都市部や市街地など架空送電線の建設が困難な箇所では電力ケーブルを敷設し、送電設備を設置する。長崎市内のケーブル張替工事に従事した現場では、地域住民の生活に影響が出ないよう、様々な検討を重ね、地域の方々とコミュニケーションをとりながら工事に対する理解を得て進めることができ、大きなやりがいと達成感を得られた。

社会インフラを支えるものづくりに

やりがいを感じる

九建
地中線工事部
うしじま こうへい
牛島 康平 さん 2012年入社



PROJECT
09

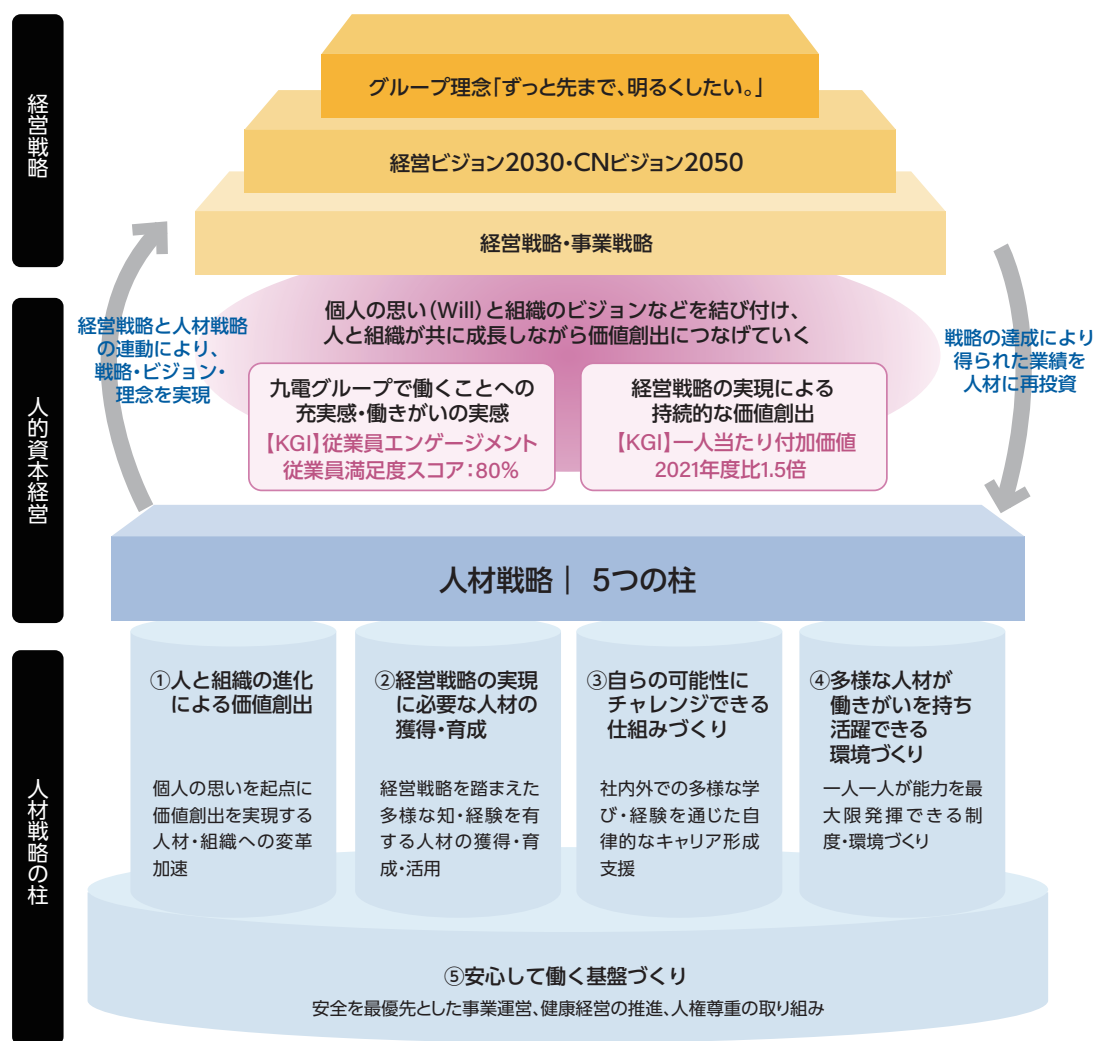
多様な人材が活躍できる環境づくり

— 人と組織が成長し続ける組織文化の醸成により未来の価値を創出 —

九電グループを取り巻く事業環境が大きく変化する中で、経営ビジョン2030やカーボンニュートラルビジョン2050を実現する原動力となるのは人材です。九電グループでは、「個人の思い(Will)と組織のビジョンなどを結び付け、人と組織が共に成長しながら価値創出につなげていく」ことを基本的考え方として、人的資本経営の更なる強化に取り組んでいます。

また、DXについても、多様な人材の活躍や価値創出に向けた重要な経営戦略として推進しています。

人的資本経営における人材戦略と価値創造プロセスの全体概念



重要目標達成指標(KGI)

人の成長

従業員が九電グループで働くことへの充実感を覚え、働きがいを実感する観点から「従業員エンゲージメントの向上」

組織の成長

経営戦略の実現による持続的な価値創出の観点から「一人当たり付加価値の向上」